



大田区立馬込第二小学校

学校だより

令和四年度 五月号

家庭数配布物

一人ひとりを大切に

副校長 鈴木 茂雄

新学年での学級が始まって約三週間が経ちました。それぞれのクラスで頑張っている児童の様子を多く見ることができ、学校全体としては順調にスタートすることができたのではないかと、嬉しく思っています。

今年も、新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら、教育活動が充実するようしていきたいと思っています。

そのためにも、児童一人ひとりを大切にしたい教育をすすめていきたいと思えます。

一人ひとりを大切にすることは、言うこととは簡単ですが、実際の場面では難しいことがあるのも事実です。授業では、一人一人から表出したこと（発言やノートやタブレットや作品の記録等）から、思いを汲み取ったり、より分かりやすくするために説明などを付け足したりするなどを行っています。自分自身の良さを発揮して、周りの児童と様々な意見のやりとりをしながら、互いに成長していくことを願っています。

児童は、相手が考えていることを理解しようとはしますが、見た目だけでは分からないこともあります。それだけに、相手に分

かるように説明していく努力も必要になります。

しかし、全ての人に丁寧に説明できないこともあります。例えば、ワクチンやマスクも、感染予防には大切な手立てですが、事情によってワクチンが打てなかったりマスクが付けられなかったりする人もいます。みんなで感染予防をしていきましょうと、自分や相手を守るために親切な気持ちから注意や声掛けをすることもあると思います。その時、相手の事情を分かんず、決めつけたり誹謗中傷をしたりすることがないようにしていきたいものです。なお、一人ひとりの健康を守ることが大切ですので、マスクを付けられない人には、咳エチケットなど、自分や相手に対して、感染防止の対策を取る配慮はお願いしたいと思います。

なお、このような感染予防をしたくてもできない人がいることについては、全校朝会（ミート朝会）で、校長先生から全校児童に話があり、学校としても周知を図っているところです。

いろいろな場面で、相手を思いやる気持ちがあるかないかで、言葉かけも違ってくると思いますし、そのような気持ちをもっての言葉かけだと承知していれば、受け止める側の気持ちも穏やかになると思えます。

今後、相手のことを思いやり、一人ひとりが大切にされ、輝ける場があるような学校でありたいと願っています。

特別支援教育について

特別支援教育コーディネーター



特別支援教育とは、障がいのある児童の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立って、児童一人ひとりの力を伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な

指導と支援を行っていく教育のことです。

本校においては、その教育の一環として、特別支援学級である若竹学級が設置されています。

現在、本学級には十四名の児童が在籍しており、次の目標を立て、日々の教育活動を行っています。

- ・自立に向け、基本的な生活習慣を身に付けること。
- ・自主性を育て、基礎的な学力を身に付けること。
- ・健康に関心をもたせ、丈夫な体をつくること。
- ・素直で思いやりのある心を育て、人と豊かにかかわり合えること。

以上の目標が達成できるように、次のようなことに取り組んでいます。

- ① 学校の主な行事や給食等で、通常学級の児童と交流をしています。（感染症予防のため、現在交流給食は見合わせている状況です。）
- ② 健康で丈夫な体をつくるため、学級独自にリトミックや持久走練習を取り入れています。
- ③ 日常生活の中で自立心を養い、学習については児童一人ひとりに合わせて個別の指導を丁寧にしています。

これらの取り組みによって、「日常生活に必要なことを一人で行う力」「自らの課題に向かって努力する力」「自分の思いや考えを言葉で伝える力」を身に付けさせていきたいと考えています。

若竹学級の子どもたち一人ひとりが、生き生きと、そして誰とも仲良く生活できるように、これからも支援していきます。

一年生を迎える会を終えて

特別活動主任



四月二十日に「一年生を迎える会」を行いました。

今年度も昨年度同様、コロナ禍の中どのような形で迎えることができるかを、前年度の代表委員の子どもたちと一緒に考えました。少しずつ今までのような形に戻していきたい気持ちと、感染予防をしなければならぬという狭間で悩んだ結果、一年生と会を進行する前年度代表委員と集会委員のみ体育館に集まり、その他の学年の子どもたちはリモートで参加しました。

当日は、リモートではありませんが、たくさん教室から盛り上がる声が聞こえてきました。一年生が馬二小の仲間入りができました。

子どもと保護者のための教育相談

(こころの輪メール相談) にこころ

大田区には、学校生活でのなやみ、生活面でのなやみに関するメールでの相談窓口(こころの輪メール相談)があります。相談をしたい場合には、

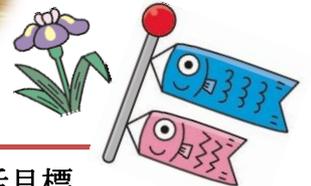


kokoronowa@city.ota.tokyo.jp または、右の二次元バーコードがリンクしているメールアドレスになやんでいる内容を送信してください。また、児童の皆さんへ配布した大田区公式キャラクターはねびよんキーホルダーの裏にもメールで相談できる二次元バーコードが書いてあります。小学生本人からの相談も保護者からの相談も受け付けています。(子ども電話相談 ☎03-5748-1203) を利用することもできます。 ※本窓口相談する際は、区から貸し出されているタブレット端末ではない機器から利用してください。

5月の予定

日	曜日	補習教室の実施学年 (3~6年) ↓	
		放課後遊び (5・6年) ↓	
1	日		
2	月	聴力(3) 委員会活動	
3	火	憲法記念日	
4	水	みどりの日	
5	木	こどもの日	
6	金	離任式(5校時) 聴力(2) 避難訓練	
7	土		
8	日		
9	月	聴力(1・若)	
10	火	安全指導 遠足(3・4) 耳鼻科検診(1・2・6・若)	○ 5-2
11	水	児童集会	
12	木	眼科検診(全)	○ 3-3
13	金	遠足(5・6)	
14	土	特別時程 土曜授業(3時間) 算数補習教室(11:15~ 3~6)	3~6
15	日		
16	月	運動会特別時程開始 クラブ活動 移動教室前健診(若竹学級5・6のみ)	
17	火		○ 6-1
18	水	音楽朝会(4) 耳鼻科(1~3)	
19	木	若竹連合移動教室始 歯科検診(1・4)	○ 4-1
20	金	若竹連合移動教室終	○
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		○ 6-2
25	水		
26	木		○ 4-2
27	金		○
28	土		
29	日		
30	月	委員会活動	
31	火	運動会係打合せ 4年生5時間授業	

1年生を迎える会の様子



五月の生活目標 ことばづかいに気をつけよう

スクールカウンセラー来校日

お気軽にご相談ください。
担任、養護教諭、または、スクールカウンセラー

へ相談予約をお願いします。

KB(火)	KY(木)	
10日	12日	9:00~16:00
17日	19日	9:00~16:00
24日	26日	9:00~16:00
31日		9:00~16:00